



ののいち

NONOICHI

2012
平成24年

9

No.690

野々市 じよんがら まつり

フォトアルバム

主な内容

- ギズボーン訪問団 6
- 第64回 石川県民体育大会 8
- 平和への願いを込めて 9



野々市
じょんから



照りつける太陽も
まきおこる砂塵も なんのその。
1年で1番
野々市市が熱くなる日がやってきた。
市となって初めての野々市じょんからまつり。
ステージに 屋台に 夜にはじょんから踊り。
浴衣姿の子どもも 焼き鳥片手の大人も
誰もかれもが 楽しそうにほほえんでいる。
「踊りましょうぞ 夜明けるまでも」
踊りの輪は 幾重にも広がり
お囃子が いつまでも響き渡った。



一般の部

参加21チーム

じょんから踊り大会 結果

野々市じょんから賞

野代リボン

本町5丁目つばきっ娘



富樫賞 御経塚シスターズ
椿賞 本町5丁目カシスオレンジ

子どもの部

参加16チーム



とがし賞 本町1丁目若葉子ども会 メロディ
つばき賞 きらりんガールズ





野々市じょんから踊り大会 参加者

イオン御経塚店
俵 正治 店長



これまでも市と防災協定を結ぶなどしてきましたが、もっと地域に貢献したいと今年初めて踊り大会に参加しました。社員たちは、事前の講習で踊りをマスターし、この日を楽しみにしていました。来年は、倍の人数で参加したいです。

園児踊り 観覧者

金沢市在住
堀川 由美子さん



孫の踊りを、楽しみに来ました。野々市じょんからまつりに来るのは、初めてです。園児踊りを見てから、会場を回ります。

町内会対抗 バルーンファイト☆絆 参加者

本町5丁目の
皆さん



町内で負けず嫌いなメンバーを集めました。攻めと守りを意識してみんなで協力して戦い、大将を徹底的に守ることで優勝できました！素直にうれしいですね。



和太鼓演奏「藍・富樫太鼓」



陸上自衛隊第10音楽隊コンサート



ガールスカウトによる折り紙教室



長縄跳び大会



おにごっこ じょん走中は今年も大人気



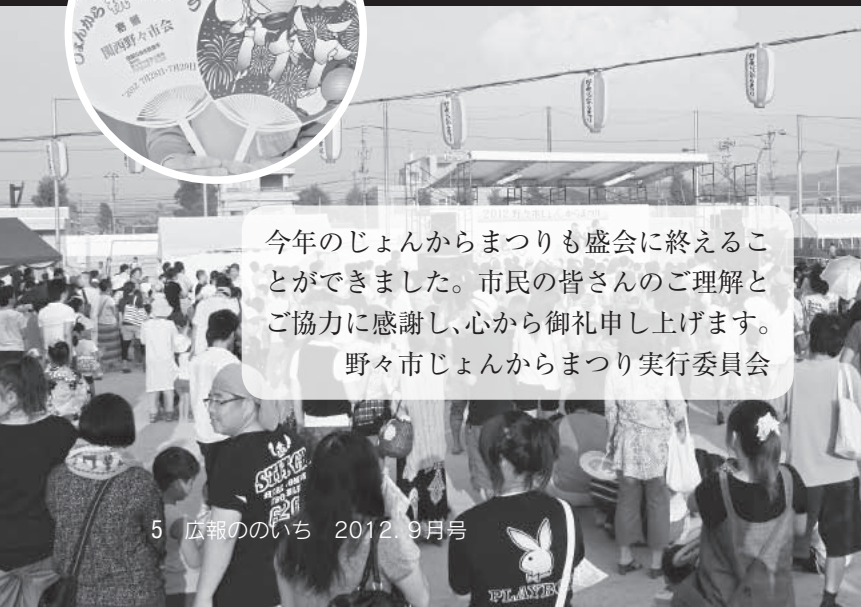
「S-I-V-I-L」のライブ



今年初めて開催！「町内会対抗 バルーンファイト☆絆」



今年も関西野々市会から
うちわを寄贈いただきました。



今年のじょんからまつりも盛会に終えることができました。市民の皆さんのご理解とご協力に感謝し、心から御礼申し上げます。
野々市じょんからまつり実行委員会

ののいち時計が完成！
(7月15日～9月1日)
9月1日から公開中
<http://nono.shoko.or.jp/tokei/>

ののいち時計は、まつり会場などで撮影した1440カットの写真をつなげたWEBフォト時計です。パソコンや携帯電話で見ることができます(パケット通信料がかかります)。

全てのパソコン、スマートフォン、携帯電話に対応しているわけではありません。機種によっては見る事ができない場合もありますのであらかじめご了承ください。

野々市じょんからまつり共催事業

「一般の部」

市長賞 校庭も人も灼けつき橋組む
商工会長賞 地を揃ひ月に手をのべ総踊
北國新聞社賞 ためらびてぬしと思へぬ踊りかな
秀逸 六田明子、古源和子、松原八重子、東幸子、館比佐子、坂井管子
佳作 松原八重子、山田深雪、小林清、南邦夫、東幸子、辻文江、柴田ふじ子
〔児童生徒の部〕

金賞 お日さんもいつしに口へミニトマト
銀賞 じょんからは伝統まもるおまつりだ
銅賞 女子たちはゆかたやじんべいおしゃべりな
佳作 小西利拓、米林耕栄、米林彩花、南宏次郎、越村しゅん也

少年サッカー大会(第18回野々市市長杯サッカー大会)
優勝 第一翼スポーツ少年団(小松市)
2位 富陽サッカークラブ
3位 太白台FCスポーツ少年団(津幡町)

2012 野々市じょんからまつり 長縄跳び大会

1位 押越A (42回)
2位 稲荷B (38回)
3位 稲荷C (34回)



総務課 戸田清香

この世で一番大切なものは何かと聞かれたら 「それは 人間だ 人間だ 人間だ」と答えるであろう

この言葉は、リトンハイスクールのウィルム校長が教えてくださった、ニュージーランドの先住民マオリに伝わる言葉です。自然豊かなニュージーランドでは、何より自然を大切にしている印象があったので少し意外に感じました。人間は、自分の知らないことに対して不安や恐れを感じます。お互いを知り、認め合うことによって相手を思いやることができ、平和な世界が作られると信じられています。

ギズボーンでは、どこに行っても「Hello!」「こんにちは」「キオラ（マオリ語でこんにちは）」と声をかけられました。電子辞書を片手に必死な私に、笑顔で耳を傾けてくれました。南半球のギズボーンは真冬でしたが、温かな気持ちに包まれた4日間でした。



8月1日(水)
ホストファミリーと別れの日。本当の家族のように迎えてくれてありがとう！見送りにきたホストファミリーの姿が小さくなり、いつもより静かな生徒たちを乗せたバスはゆっくりとギズボーンを後にしました。

んから踊りを披露しました。ギズボーン市では和太鼓のチームが発足したそう、篠笛の生演奏にみんな興味深々！海を越えて、野々市の文化を伝えることができました。



(50音順、敬称略)

阿部 海舟（布水中2年）

ホストファミリーのセバスチャンは日本語が上手で、気軽に話しかけてくれました。英語を勉強して、もう一度ニュージーランドへ行けるように頑張る勇氣をもらいました。

尾田 奈々帆（金沢錦丘中3年）

ホストファミリーは環境に配慮した生活をしていて、暖炉を使用する、テレビを主電源から切る、不要な電気をこまめに消すなど、当たり前のことをしっかり実行できていることに驚きました。

上口 まる美（金沢錦丘中3年）

ホームステイ最後の日、ストーミー家の皆さんは日本語で「あなたは、私たちの家族です。このお家はあなたのお家」と言ってくれました。ストーミー家は、私にとってのもう一つの大切な家族です。

木津 奈利香（野々市中1年）

リトンハイスクールで日本語とコンピュータの授業を受けましたが、授業のやり方が日本と違っていて驚きました。ナイトパーティでは、リトンハイスクールのいろいろな生徒と仲良くなれました。

小堀 拓磨（布水中1年）

ゲームなどでホストファミリーと交流を深めるうちに帰りたくなくなり、もう1日伸びないかなと思いつきながら最後の夜を過ごしました。見送りに来た皆さんの姿が見えなくなった瞬間、グッときました。

篠田 凌（布水中2年）

山の方へ行くと、ヒツジ、ウシ、ウマなどがたくさん見られて驚きました。ホストファミリーには映画や地元のスーパーへ連れて行ってもらい、観光旅行では味わえない体験ができました。

ギズボーンに行ってきました！

姉妹都市交流の一環として、中学生海外派遣研修事業が7月26日(木)～8月3日(金)の9日間の日程で行われました。団長の宮本浩一布水中学校長、市内の中学生12人、引率4人の計17人の派遣団がニュージーランドの姉妹都市ギズボーン市を訪れ、ホームステイや市役所訪問を行いました。

今年は4月にギズボーン市からの訪問団（リトンハイスクールの生徒20人、引率4人）が野々市市を訪れており、生徒の中には久しぶりの再会を喜ぶ姿も見られました。



リトンハイスクールの校庭。歓迎式典へ向かう派遣団。

7月28日(土)
リトンハイスクールでホストファミリーとの初対面。みんな緊張していましたが、準備されていたケーキで思わず笑顔に！明日は1日フリータイム。それぞれホストファミリーとの思い出づくりです。

7月30日(月)
マオリの集会所で、迫力いっぱい歌と踊り、鼻と鼻をくっつける「ホンギ」という伝統的なあいさつで温かい歓迎を受けました。その後、農場で子ヒツジへのミルクやりを体験。人間よりもヒツジの数の方が多いというニュージーランド。子ヒツジは小さくてかわいいのですが、ミルクをあげたり予防接種をしたりとなかなか手がかかるそうです。



7月31日(火)
ギズボーン市役所を訪問。ギズボーン市から、マオリの木工芸品の皿をいただきました。黒い2匹の鳥は野々市市とギズボーン市を表し、白色と赤色で描かれた模様はマオリの伝統的な模様で、色調は日本の国旗を表しています。2つの市の友好がより深まることを願い、作成されました。野々市市からは、派遣団員の四ツ井君の父親が作成した友禅の短冊を贈り、四ツ井君が英語で紹介しました。また、眞館さんの篠笛を伴奏に野々市じよ

ノナ副市長 宮本校長

参加生徒の感想を一言ずつ紹介します

関野 莉奈（布水中2年）

今年の4月に私の家でホームステイをしたソフィーの家にホームステイをし、エイの餌やり体験などをして過ごしました。本当の家族のように優しく、温かく接してくれました。

高崎 萌（布水中2年）

ホストファミリーのピーターさん夫妻は、手作りのカップケーキとパースデーソングで私の誕生日をお祝いしてくれました。14歳の誕生日をお二人と一緒に迎えられたことは、私の一生の思い出です。

半浦 卓弥（布水中2年）

ホストファミリーのアダムは、簡単な英文や単語を使って話し掛けてくれました。話す言葉が違って、単語やジェスチャーなどで十分気持ちが伝わりコミュニケーションがとれるのだと思いました。

眞館 瑠那（野々市中2年）

ホストファミリーのケルシーは和太鼓チームで篠笛を担当するそうです。私はじょんからキッズで三味線や篠笛を演奏していたので、篠笛で野々市じょんから節を演奏するととても喜んでくれました。

柳原 成寿（野々市中1年）

ニュージーランドは、自然が豊かで広大な土地が広がり、映画の撮影にもよく使われると聞き、驚きました。ギズボーンでは、4月に日本へ来たラーソンやマルコムに再会できたので良かったです。

四ツ井 聡太（金沢大学附属中2年）

ニュージーランドには多くの自然が残されていて、何枚写真を撮っても飽きないような光景でした。クローカー一家と山の中の温泉に行く途中、橋の上から野生のマスを眺めたのが思い出深いです。

第64回 石川県民体育大会

男子は総合第8位、女子は総合第9位



志賀町、羽咋市、宝達志水町を主会場に石川県民体育大会夏季大会が、8月11、12日に開催され、市から719人の選手と役員が参加しました。2月に行われた冬季大会の結果と合わせ、男子は総合第8位、女子は総合第9位でした。

(敬称略、個人は第一位のみ掲載)

陸上 一般男子 入賞ならず 一般女子 第8位 壮年男子 入賞ならず 壮年女子 入賞ならず
水泳 一般男子 第1位 一般女子 第2位 壮年男子 第4位 壮年女子 第6位
《個人男子》▽18歳以上200m個人メドレー 池谷公士郎 ▽60歳以上50m自由形、50mバタフライ 田渡定夫 ▽年齢制限なし200mメドレーリレー 山本拓也・池谷公士郎・内田大貴・川嶋辰彦
《個人女子》▽30歳以上50m平泳ぎ 屋敷美鶴
水球 一般男子 第2位
軟式野球 一般男子 入賞ならず
ソフトテニス 一般男子 第3位 壮年男子 入賞ならず 壮年女子 ベスト8
テニス 一般男子 ベスト8 一般女子 第4位 壮年男子 第4位
バレーボール 一般男子 入賞ならず 一般女子 ベスト8 壮年男子 第5位 壮年女子 入賞ならず
バスケットボール 一般男子 第3位 一般女子 入賞ならず 壮年男子 入賞ならず 壮年女子 入賞ならず

女子 第1位
卓球 一般男子 入賞ならず 一般女子 ベスト8 壮年男子 入賞ならず
剣道 一般男子 ベスト8 一般女子 入賞ならず 壮年男子 第2位
柔道 一般男子 第3位 壮年男子 第5位
弓道 一般男子 入賞ならず 一般女子 第8位 壮年男子 第4位 壮年女子 第8位
バドミントン 一般男子 入賞ならず 一般女子 入賞ならず 壮年男子 入賞ならず 壮年女子 入賞ならず
ソフトボール 一般男子 第2位 一般女子 第3位 壮年男子 第3位
ラグビーフットボール 一般男子 入賞ならず 壮年男子 入賞ならず
サッカー 一般男子 入賞ならず 壮年男子 ベスト8
山岳 一般男子 第4位 一般女子 第1位 壮年男子 第3位 壮年女子 第1位
クレイ射撃 一般男子 第7位
ボウリング 一般男子 入賞ならず 一般女子 入賞ならず 壮年男子 第3位 壮年女子 第8位
トランポリン 一般男子 ベスト8 一般女子 第1位
少林寺拳法 一般男子 第6位 一般女子 第7位
ゲートボール 壮年男子 入賞ならず
ゴルフ 一般男子 入賞ならず 一般女子 入賞ならず 壮年男子 第5位 壮年女子 入賞ならず
グラウンド・ゴルフ 一般男子 入賞ならず

	男子		女子	
	市町名	得点	市町名	得点
第1位	金沢市	1,973.5	金沢市	1,371.00
第2位	白山市	1,709.5	白山市	1,270.25
第3位	小松市	1,595.5	小松市	1,151.25
第4位	加賀市	1,272.0	加賀市	970.75
第5位	かほく市	1,257.5	能美市	859.00
第6位	能美市	1,205.5	かほく市	759.00
第7位	七尾市	1,123.5	七尾市	739.00
第8位	野々市市	1,106.5	津幡町	720.75
第9位	津幡町	1,031.5	野々市市	672.50
第10位	羽咋市	918.0	中能登町	586.25

※ 冬季大会と夏季大会の総合成績です

平和への願いを込めて

8月6日(月)、野々市・布水両中学校から15人の生徒が広島市の平和記念式典に参加し、平和への祈りを捧げました。式典前日の5日には、原爆の子の像の前で野々市中学校の森裕亮生徒会長が自身の想いをこめた平和宣言文を読み上げ、平和への誓いを新たにするとともに、市内外から託された約5万4千羽の折り鶴を奉納しました。生徒2人の感想文を紹介します。



平和の旅を終えて

布水中学校3年 青山 一葉

私たち生徒会執行部は、8月5日、6日の2日間、広島へ行つて戦争について学んできました。

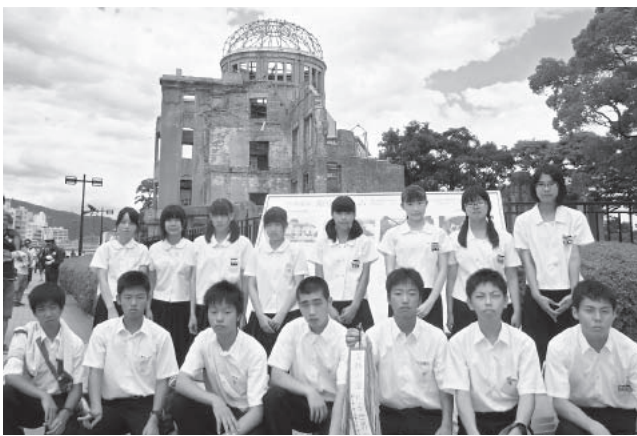
1日目は、平和記念公園で平和宣言文の読み上げと折り鶴奉納を行いました。そこにはすでに多くの折り鶴が納められており、平和を願う強い思いを感じました。私たちは、全校生徒や市民の皆さんに折っていた折り鶴と共に、平和への祈りを捧げました。

2日目は平和記念式典に出席しました。広島市長の平和宣言を聞くと、当時の痛々しい様子が思い浮かびました。その後、平和記念資料館に行き、被爆した子どもたちの衣服や爪を見ました。思わず目を塞ぎたくなるような光景でした。

資料館を出てから、献花をさせていただきました。献花台付近は、たくさん



皆さんから託された折り鶴を奉納する生徒。嬉しい気持ちをありがとうございました。



の人であふれかえっていました。私もその中に混じって花を供え、手を合わせてきました。

私はこの旅から、平和の大切さ、核兵器がもたらす悲惨さ、一瞬にして全てを奪う戦争の恐ろしさを学ぶことができました。戦争は何も生みません。憎しみの連鎖が起こるだけです。世界から戦争をなくすには、お互いの国が理解し合い、文化や民族の違いを認め合うことが大切だと思います。67年前の広島に起こったことを、私たちは絶対に忘れてはいけません。未来を担う私たちの世代が、核兵器廃絶を強く訴えていこうと思います。

平和の旅を通して感じたこと

野々市中学校3年 中西 陽香

私が広島へ着いたとき、この場所に原爆が落とされたなんてとても信じられませんでした。きれいに舗装された道、たくさんの建物、至る所にある木々。そのどれもが美しく、67年前、本当に焼け野原だったのか想像もつきませんでした。

でも、原爆ドームを見ると、あの悲惨な出来事が本当に起きたことが分かりました。周囲に散らばった瓦礫やむき出しになっている鉄骨が、原爆の恐ろしさを無言で訴えかけてくるようでした。核兵器は世界に必要な

くない。私はそう痛感しました。平和記念式典は初めて参加したので、こういった感じなのか分からず少し緊張しましたが、会場にいる

誰もが平和を願っていることが伝わってきました。日本人の他に外国からもたくさんの方が来ていたので驚きました。世界中で平和への意識が強まっている証だと思うので、これからもっと増えていってほしいと思いました。

今回の平和の旅を通して、改めて平和への意識が強くなりました。原爆についての話を聞いているだけではあまり実感が湧かなかっただけ、実際に資料を見てみると、思わず目を背けてしまうほどに当時の状況がとてつもない悲劇をくり返してはいけなかった。そう強く思いました。この出来事を忘れてはいけません。次の世代へ語り継いでいき、平和の尊さを伝えていくことが大切だと思います。

布と市のまち

本町2丁目にある「布市神社」。昔、神社の前では布の市が開かれていて、たくさんの人で賑わっていたそうです。時を超えた今、布と市でまちを盛り上げる人たちを紹介します。

写真は昨年の「野々市の市」



住民発信でつくるまちの賑わい「野々市の市」

10月14日(日) 10:00～16:00 本町2～3丁目

旧 北国街道の面影を色濃く残す本町通りを歩行者天国にして行われる「北国街道 野々市の市」。昨年、本町通りの無電柱化と市制を記念して初めて開催されました。庁舎が三納に移転してから、本町通りは時間が止まったように感じていたという、実行委員長の樫田彰久さん(本町3)。本町通りが活気づく、何か新しいことをしたくて、昨年の実行委員に参加しました。当日は、予想以上の人の多さに驚いたそうです。「普段は、車はよく通るけど人は歩かない。しかし、祭りの日には、昔ながらの町並みを散策する」という本町通り本来の良さを楽しんでもらえた」と、樫田さんは語ります。

かけ、継続することに決めました。今年は、重要文化財の喜多家住宅、市有形文化財の水毛生家住宅に加え、明治天皇が休憩された田村家の公開も予定し、まさに本町通りの魅力満載のイベント。「一般公開してこない水毛生家や田村家が協力してくれるのも、これまでの付き合いがあつてこそ。人との絆でこの祭りは成り立っています」。人との絆は地域内に限ったことではありません。昨年は、金沢工業大学の学生がボランティアで運営に参加してくれました。「やはり若い力はすごいと思いました。また、学生とのつながりができたこともうれしいですね」。

将来は市民全体に参加してほしいという樫田さん。「祭りは見ているだけじゃつまらない。一緒に盛り上げましょう」と呼びかけます。



北国街道 野々市の市
実行委員の皆さん

「文化振興課が同じ日に郷土資料館で企画展や歴史まちあるきのイベントを開いてくれます。そういった市との連携も大切で、励みになりますね。今は地元への想いだけで突っ走っていますが、今後も継続できるよう実行委員会の組織化が課題です」

ボランティアスタッフ募集中！
問い合わせ先 ☎090-9689-2266 (樫田)

「春

は新芽。それも雪がまだあるときに摘んだほうが良い。秋は実。ぶどうなんか上品な色あいで素敵」。まるで枕草子の一説のように語るのは、市商工会女性部の草木染部長の藤村さん。季節折々の草花を使った草木染めを楽しんでいます。

女性部の皆さんが草木染めを始めたのは17年前。野々市の特産品を作りたいと思い、部員同士がわいわいと集まれる場がほしいという要望から活動が始まりました。少しずつメンバーも増え、現在は12人。

「毎年京都に行き本職の先生の仕事をしたりと、いろいろ研究を重ねてきました。その集大成を披露する機会が欲しいと思ったのです」。満を持して企画したのは、草木染めの作品を中心とした、手作り小物展。



市商工会女性部 草木染部長
藤村 恵子さん

「女性部の草木染め作品は、決まった販売店舗がないので、こういったイベントでしかお披露目できません。どれも世界に一つしかない一点物。直接見て、手で触れて、その良さを感じてください。草木染めの体験も小学4年生以上(小学生は保護者同伴)からできます」
問い合わせ先 ☎246-1242 (市商工会・伊藤)

6年前にも開催しましたが、今年は一味違ったものを展出したいと、現在、素材などを工夫中だそうです。会場には、草木染めだけでなく、商工会員やその家族の手作り作品も並びます。「野々市の風土や地域に住む人の気質が出ているような温かい作品ばかりですよ」。

かつての布の市の賑わいを再現しようとしている女性部の今回の活動。藤村さんは「昭和30年ごろ、本町通りに市が立っていた風景をなんとなく覚えています。近隣市町からも人が集まり、賑やかで活気があったものです」と話します。

遠い先のことより、目の前の1つの目標に向かってみんなで頑張ることが長く続けるコツだと笑顔を見せる藤村さん。その明るさが、藤村さんの作品にもにじみ出ています。



10月20日(土) 9:00～17:00
21日(日) 9:00～16:00
文化会館フォルテ

17年間の集大成を披露する展示会

野々市の草木染とくらしの小物展

くし・土・雅く



議会活動

7月16日から8月15日

7月

18日 南加賀市議会議長会定期総会
18～19日 白山野々市広域事務組合
行政視察

24日 総務常任委員会 教育文化常任
委員会 産業建設常任委員会

25日 健康福祉常任委員会

26～27日 白山石川医療企業団行政
視察

30日 石川中央都市圏議会上期連絡会
31日 議会運営委員会 議員総会

富山県入善町議会総務常任委
員会視察来庁

8月

1日 埼玉県入間市議会議員視察来庁
9～10日 県市議会議長会定期総会

入札結果

1000万円以上(税込み)

7月分入札

野々市市北西部土地画整理事業

野々市駅通り線街路築造工事

第15工区

予定価格 1260万円

落札価格 1197万円

落札者 (株)下川組

野々市市北西部土地画整理事業
野々市駅通り線街路築造工事
第16工区

予定価格 2121万円

落札価格 1592万8710円

落札者 拓土建設(株)

下水道既設管路施設耐震化工事
第2工区

予定価格 1533万円

落札価格 1459万5千円

落札者 酒井工業(株)

24～5 東部配水区配水管更新
(耐震化) 工事 第5工区

予定価格 1113万円

落札価格 1043万7千円

落札者 大智(株)

24～7 東部配水区配水管更新
(耐震化) 工事 第6工区

予定価格 1333万5千円

落札価格 1249万5千円

落札者 佐々木工業

市感謝状

伊川 あけみ氏 市男女共同参画
審議会委員として4年間務められた。

魚野 秋子氏 市男女共同参画審
議会委員として6年間務められた。

矢野 俊博氏 市男女共同参画審
議会委員として6年間務められた。

消防表彰

7月16日に発生した高橋町の建物
火災で迅速な発見・通報および初期
消火を行った。

◆平沢 彰人氏

大会結果

■全日本ジュニアテニス選手権大会
12歳以下男子ダブルス準優勝

吉野 郁哉くん(菅原小5)



ご寄附

ありがとうございます

■市福祉基金へ

▽野々市リフレッシュ様

2万2285円

▽マリーゴールド様

1万8200円

東京野々市会



東京野々市会の今年度総会が7月
14日(土)、東京都文京区の椿山荘で会
員ら22人が出席して開かれました。
中嶋一郎会長のあいさつに続き、
栗市長が東洋経済新報社がまとめた
「住みよさランキング」で、今年、
市が総合で全国第2位になったこと
を報告しました。会では、若手を中
心に新入会員の勧誘を推進すること
が決まりました。また、市が椿山
荘庭園に寄贈したツバキ「野々市」
の観賞も行われました。

市の出身者でつくる「東京野々市会」
「関西野々市会」の会員を募集!

会では、毎年総会や懇親会を開催
し、会員相互の親睦を深めています。

また、広報ののいちやふるさと特
産品を通じて、野々市の魅力を全国
へ発信しています。

年会費 3,000円
問い合わせ 総務課

☎227・6026

結核は「現代」の病気

問い合わせ
◆健康推進課
☎248-3511

毎年9月24～30日は「結核予防週
間」です。この機会に結核について
一緒に考えてみましょう。

結核は、注意すれば予防でき、治
療法も確立されています。しかし、
日本では今でも1日に62人の新しい
患者が発生し、6人が命を落として
います(平成23年のデータ)。国際
的にも欧米先進国に比べまだまだ結
核は多いのが現状です。

発症しやすい人、症状

結核とは、結核菌という細菌が肺
の中に入ることによって
起こる病気です。症状の
進んだ患者の咳やくしゃ
みと一緒に結核菌も空気
中に飛び散り、これを吸
い込むことで感染しま
す。ただし、結核に感染
しても必ず発症するわけ
ではなく、感染した人の
うち10～20%の人が発症
します。乳幼児や高齢者、

糖尿病の人、ダイエットや不規則な
生活で乱れた生活習慣を送っている
人など、抵抗力や免疫力が弱ってい
る人がかかりやすい病気です。

初期症状は風邪に似ています。二
週間以上続く咳や痰、微熱が続く、
体がだるい、食欲がなく体重が減る、
胸の痛みなどの症状があります。

予防、早期発見方法

まず、生後6か月までのBCG接
種が重要です。これにより発症が予
防でき、もし発症しても重症化しな
いことが分かっています。早期発見
には年に一度の定期検診で胸部レン
トゲン検査をすることが重要です。
市の定期検診対象は40歳以上の人で
す。また、日ごろから十分な睡眠や
バランスのとれた食事、規則正しい
生活に心がけ、免疫力をつけておき
ましょう。早期発見・早期治療は本
人の重症化を防ぐためだけではなく、
大切な家族や職場などへの感染
の拡大を防ぐためにも重要です。

地域サロンに行ってみよう⑫

地域の高齢者が住み慣れた場所で、気軽に参加できるのが「地域サロン」
です。そんな市内の「地域サロン」を不定期で紹介しています。今回は第12
弾として「菅原町先達者やるまい会おたっしやサロン」を紹介します!

菅原町先達者やるまい会

おたっしやサロン

現在のサロンの参加人数は

約10人

サロンの特徴は

ゴム体操、のっぴ体操を実施しています。
また、常に新しい体操を取り入れるよう心掛け
ています。

参加してよかったことは

普段の生活では会えない人と出会えるのが嬉
しいです。

また、サロン内で生活情報を交換できるのも
良いです。この間は、梅干
しのつけ方について情報交
換しました。

市民へのメッセージ

みんなで賑やかに体操を
しています。気軽に参加し
てください!



地域の底力

～高齢者などの安心を
みんなで守ろう～

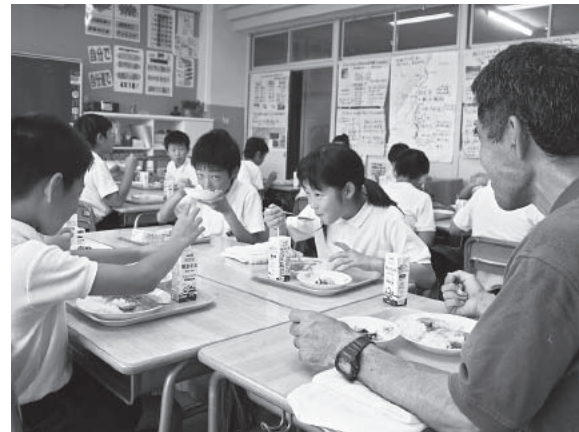


活動場所 菅原町集会所
活動日時 第1・3月曜日 午前10時から
対象者 菅原町に住んでいる人
問い合わせ 竹田(世話役) 246・1488

地元の野菜で作る特製カレー

サマーカレー

7月19日(木)、市内の小中学校でサマーカレー給食が行われました。これは、地元産の食材を通じて、生産者や流通に関わる人を知ることで、食への感謝の気持ちを育むことを目的に毎年行われています。今年は、市内の生産者5人と粟市長、村上教育長などが富陽小学校を訪れ、4年生の児童と交流しました。カレーを食べ終えた児童は、「家のカレーより美味しかった」「作ってくれる人があるから、おいしいご飯が食べられると思う」など感謝の気持ちを次々に口にしていました。



富奥の農を訪ねて

加賀百万石ウォーク「ののいち版」

ボランティアガイドののいち里まち倶楽部は市内を案内するコースづくりを進めています。7月21日(土)には、加賀百万石ウォークの事業として、中林の福来園と県立大学附属果樹園を巡りました。市内外から参加した一般9人の他、この春に県立大学へ入学した学生10人も参加しました。福来園では、野菜や花き栽培の様子を見学したあと、採れたての野菜を味わいました。県立大学の果樹園では、袋をかけたリンゴやナシ、これから食べ頃のブドウなどを見学し、農業先進地「富奥」の魅力を堪能しました。



揺らめく炎に豊作を願う

虫送り

稲を荒らす害虫を追い払い、五穀豊穰を祈願する夏の風物詩と言われる祭り“虫送り”が今年も富奥、押野、御経塚の3地区で行われました。

7月23日(月)の夜、押野地区では雄大な太鼓を先頭に、子どもたちが空き缶松明を持って練り歩くと、田園の中では赤く燃える多くの灯りの行列が浮かび上がっていました。

また、会場となった押野北公園では、中央に灯した大きなかがり火の周りで地元住民の威勢のいい声や太鼓の音が響きわたり、本格的な夏の訪れを告げていました。



学生が考える地域の課題

工大プロジェクトデザインⅡ 地域連携テーマ 発表会

金沢工業大学の2年生が地域の課題に取り組んだ成果を8月8日(木)、情報交流館カメリアで発表しました。これは、身近な実社会の問題に対して解決策を導き出すプロセスを学ぶ授業の一環で、毎年、市からも地域の課題を提供しています。「自転車の飛び出し防止」については「送風機付きのポールを交差点付近に設置する」といった提案がなされ、若者らしい柔軟な発想が見られました。

発表会に先立ち、7月31日(火)～8月4日(土)にはイオン御経塚店で、学生たちの活動成果のポスターを展示しました。



夏休み特集

各種体験・教室事業

夏休み中、市内ではさまざまな子ども対象事業が行われました。地域の歴史や交通を学んだり、お金について考えたり、エコを実践したり。一段と成長したののいちっ子を紹介します。



電車で小さな旅をしよう

学びのサポーターとつくる夏休み体験

野々市公民館では、「北陸鉄道石川線の利用促進を考える市民の会」と協力して、7月25日(火)に石川線を利用した本町地区と旧鶴来町のまち歩きが行われました。

公民館には、電車に乗ってみたかったという小学生25人が集まりました。ボランティアガイドののいち里まち倶楽部の会員が案内し、北国街道道標や富樫館跡石碑を訪ねながら、野々市工大前駅へ。約20分の電車のプチ旅行を楽しんだ後、鶴来駅近くの車両基地や古い町並みを楽しみました。

手作り貯金箱で貯める大切なお金

お金のお話しと陶芸貯金箱づくり

将来かしこい消費者となるよう、消費者教育の一環として市内小学生向けに教室が開かれました。7月27日(金)、情報交流館カメリアで陶芸家3人の指導のもと、参加した45人の児童は粘土を使って筒型の貯金箱づくりに挑戦。好きな模様を描くなどして、思い思いの形にしていました。

貯金箱づくりの前には、金融広報アドバイザーの畑上麻保氏が目標を持ったお金の貯め方を説明し、児童らはお金を貯める目標や、日ごろの使い方を目で見確認できるよう小遣い帳を付けることなどを学びました。



つくって、楽しんでエコロジー

夏休み子どもエコ教室

7月30日(月)、情報交流館カメリアで市内小学生30人が、風力エネルギーが光エネルギーにかわる仕組みを学びました。ペットボトルをはさみで加工して風車をつくり、そこに発電装置と電球をつけ、ペットボトル風車のできあがりです。参加者は屋外に出て、風の強い場所を探し、自然の風の力で電球が灯ることを体験しました。御園小学校4年の辻くんは、「学校でも節電や節水をしていて、環境問題に興味があったので参加しました。夏休みは、サッカーだけでなく、こうしたことにも挑戦したい」と話しました。



オススメの本

子ども向け



『いもほり』 はまの ゆか／作
ほるぶ出版

いもほりは、子どもが直接土にふれる貴重なイベント。つるを引っ張って、出てきた虫におっかなびっくり。でも、たき火で焼いたほくほくのいも味の格別！

図書館お役立ち情報：アウトドア派のあなたもこの秋は図書館へ。釣りに川遊び、山菜採り、青空料理の本などはいかが。

大人向け



『ホームステイがやってきた』 清水 祺子／著 木魂社

言葉や食べ物、マナーなど、文化の異なる人との生活には、不安も多いもの。ベテランホストファミリーの著者が、無理なく、楽しんで受け入れするコツを伝授する。

● 今月のおはなし会

とき：9月8、15日(土)
午前11時から
場所：児童図書コーナー

楽しい絵本や紙芝居の読み聞かせです。
誰でも自由に参加できます。

● 今月の展示図書

テーマ『女流歌人・俳人』
※展示期間中は貸出できませんので、予約をお願いします。

Topics

災害時に飲料水供給の協定結ぶ



市は、地震などの災害発生時に、被災した住民に飲料水を供給する協定を中部ペプシコーラ販売（愛知県）、北陸コカ・コーラボトリング（富山県）、コーシン（野々市市）の3社と結びました。

市では、東日本大震災後、災害時のライフラインの確保について対策強化を検討してきたところ、同時期に各社から協力の申し出があり、合同で協定を結びました。

7月24日(火)に行われた締結式では、栗市長が「災害時には、いかに早く飲料を提供できるかが大切。3社の協力はとても心強い」とあいさつしました。

災害対応型の自動販売機を市役所などに設置

協定では、飲料水の供給の他にも、災害対応型の自動販売機を市役所などに設置することが盛り込まれました。災害対応型の自動販売機とは、災害などでライフラインが途絶えた際に、自販機内の飲料水を無料で提供できるシステムを備えたものです。現在は文化会館フォルテと市民体育館に設置してありますが、今後、他の公共施設にも設置する予定です。



開設して、今年で2年目を迎えました。7月21日(土)には隣のつばきの郷児童館とアリス保育園の合同夏祭りがありました。当日は、たべものコーナーやゲームコーナーなど子どもたちの喜びそうな催しがたくさんあり、支援センターアリス利用の未就園児の家族も配布されたお楽しみカードを持って、約50組が参加しました。他にも小学生や地域の皆さんが多数参加してくれてとてもにぎわっていました。

また、園内のホールでは手品ショーも行われていました。帽子から突然ハトが飛び出すと子どもたちの気持ちも最高潮!!、「ワー」「キヤー」とはしゃぐ声が響き、地域の皆さんの輝く笑顔がはじけていました。



かがやくひとみ

「はじめての夏祭り」

子育て支援センターアリス



そして、夏といえばプール。7月中には、屋上のプールを支援センターの子どもたちに開放しました。「みじゅー（水）」と叫びながらペットボトルやじょうろを使って友達同士で水をかけあいながら元気いっぱいに遊んでいました。

今後も支援センターでは、安心して子どもたちが遊べる環境づくりを目指していきますので、皆さんぜひ1度遊びに来てください。

野々市検定

～新しい発見があるかも!?～^⑩

野々市のことをどれくらい知っていますか？

正解は18ページで

＜第1問＞虫送りの目的は次のうちどれ？

A. 花粉を付けた虫を送り出す
B. 害虫を駆除する
C. 虫を供養する
D. 豊作を願い雨乞いする

＜第2問＞住宅が重要文化財である本町の喜多家は、江戸時代から昭和40年代まで、何を造っていたか。
A. 酒 B. 和菓子 C. 醤油 D. 干物

＜第3問＞今年の野々市じょんからまつりで、来場者が多かったのは28日(土)か29日(日)か。
A. 28日 B. 29日 C. 両日とも同じくらい

わたしの夢

看護師になりたい

番匠 みつばさん
御園小学校3年

ぼくの夢

プロ野球選手になりたい

西出 怜央くん
野々市小学校5年

Green linerが

野々市から毎日安全運転で運行中!!

東京都内・ディズニーリゾート®行き 夜行 高速ツアーバス

22:10	22:20	22:30	23:00	6:30	7:00	7:30
松任	太平寺	工業大学	金沢	車中泊	新宿	東京
7:45	7:30	7:20	7:00	23:10	22:20	21:30

お一人様 片道料金 **4,300～8,000円**

旅行企画 株式会社丸一観光

一般社団法人 日本旅行業協会会員
石川県知事登録旅行業 第2-213号 【総合旅行業務取扱管理者：高田 定巳】 ■詳しくは直接お問い合わせ下さい。

丸一観光
http://www.maruchi-gp.co.jp

検索

野々市の名物タクシー・白観交通です！

タクシーの御利用料金が

1割引

になる

65才以上
年会費無料
更新料なし

大募集!!

新規シニア会員、タクシーご予約、お問い合わせはこの番号までお気軽に！

076-268-2022

白観交通

【白山営業所】白山市中町63-1 【金沢営業所】金沢市寿光寺町568 【鶴巻営業所】金沢市高尾台4-151

はっかんどう

白観交通

『もしも』の時の安心と信頼

会員募集 中

フューネラル倶楽部
JAのいちコスモスの会

JA指定ホール
フューネラルホール
野々市市矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141

フリーダイヤル
0120-800-448
URL http://www.tensyokaku.co.jp

天祥閣

スピード 給付の

県民共済

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は

0120-63-5011

☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107
【共済取扱団体／石川県認可】石川県民共済生活協同組合
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F
ホームページアドレス http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/
携帯電話からはこちらへ http://kyo-sai.jp/

野々市

つばきの郷

JR野々市駅南口
新しい街。

野々市つばきの郷

宅地(保留地)分譲中！

○販売面積 50.00坪～○販売価格 1,100万円～
野々市市西北部土地区画整理組合
石川県野々市市三日市町104-1 TEL. 076-246-3301
URL http://www.dimp.net/~tsubakinosato/

野々市

つばきの郷

広告欄

藤本	小澤	沖	高井	吉田	片山	宮下	北山	森下	下田	宮城	久保	大石	一瀬	吉田	子名
結愛	舞夕	明日香	しおん	旭	太智	結奈	佳奈	夏帆	双樹	鈴	結花	紅愛	実莉	拓人	

陽幸裕尚晶春真敏ゆ麻美紘真昂美安光香昌香裕憲結依隆亜
子宏理宏子喜季也き也里司耶太香修子仲織佳織輔梢一香優里之紀礼

上林	稲荷	押野	上林	新庄	上林	堀内	本町	本町	横宮	本町	御経塚	二日市	横宮	矢作	住所
4	2	3	4	6	4	3	6	6	町	1	3	町	町	1	

林	宮岸	沖田	平井	池下	小山	稲垣	吉澤	古橋	東	大山	川本	小野寺	村本	小島	宮前
滲	果	衣	日	歩	芹	菜	星	希	咲	奈	佑	洸	絢	心	
夢	生	愛	実	里	奈	侑	那	一	愛	々	衣	希	人	結	陸

さ俊え美亜
や多り啓智一寿勝咲舞咲宏沙純裕和浩由憲彩佑優文直美清
か美か次子久江二子確子歩子樹美健子之美史里吾子貴子智茜人子悠幸司

新庄	藤平	押野	三日市	二日市	太平寺	長池	新庄	藤平	御経塚	新庄	堀内	栗田	稲荷	矢作	稲荷
2	1	1	町	町	3		3	1	1	2	3	1	1	3	2

村田	入口	松田	出坂	指平	北山	下村	米林	桶田	星野	志村	越田	加藤	宮川	山本	吉田	岡水	田原	相京	山内	村尾	館	松下	平井
楓	夏	菜	成	太	香	優	夏	七	敬	ゆ	京	千	蒼	愛	勇	虹	結	美	愛	明	楓		
馬	帆	那	実	朗	羽	作	帆	奏	太	に	香	愛	依	莉	才	花	音	空	珠	理	真		

菜ま瑠ひ寿美那ゆ裕菜
三和穂慶愛嘉り英香功友哲美広佳淳さ啓志明光大賀和祐和香津哲有将き与真和裕可里美浩文良聡真紗宏
弥淳恵史子介子朗子明織二梨矢子憲代平え一乃洋咲納子宏子幸子健代也紀志恵樹紀茂里絵昭子太美也希明

押野	本町	高橋	押野	御経塚	下林	三納	徳用	郷	堀内	押野	栗田	野代	稲荷	太平寺	押野	末松	栗田	御経塚	御経塚	新庄	郷	栗田	二日市
2	1	町	3	2	4	3	町	町	5	5	4	1	1	3	5	2	1	1	5	5	町	3	町

嶋川	北島	小島	越島	蓮覚	西本	宇都	鍋島	新居	宮本	河原	森田	安田	坂元	山中	種村	佐久	友廣	福谷	芳田	脇内	西内	東田	池丸	宮丸	谷内	鄧村	中木	二藤	佐藤	中出	石島
田東	佑	勝太	愛孝	孝子	祐美	千浩	浩二	千紀	由平	千徳	航成	由全	山崎	谷村	間	英	知龍	杏健	希真	乃悟	桜子	婉儀	尚樹	聡弘	晶子	久					
香也	生郎	仁美	也佳																												

たかさ

氏名

加藤	松本
美葵	ひまわり

金沢	かほく	若松	金沢	徳用	矢作	宝達	三日市	金沢	矢作	能美	金沢	中山	白山	粟田	金沢	住吉	千葉	栗田	住吉	新庄	田尻	田尻	上林	白山	矢作	七尾	香野	押野	白松	末松	白山	栗田	前住所
市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	市町	住所
		若松		徳用	矢作	三日市		矢作	御経塚	中林	押野	住吉	栗田	新庄	田尻	上林	矢作	押野	末松	栗田													

堀植	荒漆	森多	喜田	吉田	面崎	山下	林川	田岸	山岸	井上	金村	安田	伊藤	岡田	池崎	大黒	村野	中野	健三	勝仁	氏名
子男	秀男	正文	代ト	松喜	與智	正半	克弘	吉男	一武	信枝	俊治	美浄	吉美	霧子	辰実	日宗	正諒	佳沙	裕隆	夢介	

稲荷	太平寺	長池	二日市	押野	中林	御経塚	栗田	太平寺	下林	御経塚	藤平	下林	稲荷	新中	菅原	押野	下林	本町	中林	本町	住所
4	2			4	4	1	6	4	3	5	1	4	4	2	3	1	4	1	1	4	

白山市	若松町	金沢市	二日市	押野	金沢市	金沢市	東京	押野	かほく	新庄	押越
		市	市	6	市	市	都	5	市	1	2

73	78	53	72	70	94	100	91	81	91	77	69	91	84	88	92	84	63	60	51	68	79	86	43	年
歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	齡

戸籍の窓

H24.7.14～H24.8.15受付分

個人情報保護のため本人・ご家族の希望が
あったものを掲載しています

・・・・・・・・・・・・・・・・

■ 7 月末現在の人口

	()は前月比
人 口	49,131 人 (+ 444)
男	24,998 人 (+ 217)
女	24,133 人 (+ 227)
世帯数	21,328 世帯 (+ 218)

■ 7 月中の人の動き

転 入	283 人
転 出	204 人
出 生	51 人
死 亡	30 人

※ 住民基本台帳に記載の数字です
※ 7月分から住民基本台帳法の改正に
より外国人を含んで集計しています

夢の全国大会出場を果たす

富陽小の子どもたちを野球を通して見守り
続けて25年。高円宮賜杯～第32回全日本学
童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント
に初出場した富陽学童野球クラブで監督を務
める越村道弘さんを紹介します。

Ichichi おし市民

市内で活躍する人を紹介します。



こしむら みちひろ
越村 道弘さん
(富陽学童野球クラブ監督、清金3丁目)

【今月の表紙】

市制施行後初の野々市じょんからまつりということで、会場のレイアウト、ポスターを変えるなどの工夫がされました。広報紙も例年は踊りの輪を掲載していましたが、今年は踊る人々の姿や表情を撮ることにしました。今回、表紙に登場するのは一人だけですが、会場にはたくさんの野々市美人が踊りを楽しんでいました。

ロンドンオリンピックの話題で盛り上がりを見せたこの夏、野々市では今年もじょんからまつりが開催されました。初企画の町内会対抗バレーンフアイトでは大人たちの熱きバトルが勃発。見方によってはけんかな～なんて思う場面もありましたが、周りにいた子どもや大人も大興奮でした。例年以上に参加者が多かった今年。来年以降も多くの人が参加できるまつりにしていきたいものです。

(N、H)

デジタルハイビジョン009ch
のいちふれあい通信
8:00～ 8:30
18:00～18:30
金沢ケーブルテレビネット

音訳グループ Camellia
ガミーリア
声で聴く「広報のいち」 問い合わせ 橋野 千恵子 ☎248-2521
音訳グループ「カミーリア」が、毎月広報ののいちを録音したテープを作っています。また、地域ポータルサイト「ののいちタウン情報局」でも、聞くことができます。目の見えない人だけでなく、活字が読みにくくなったという人もご利用ください。

写真をお願いすると「全国へは子どもたちに連れてってもらったので、みんなで撮らせてください」と越村さん。「自分ができないことはやらせない」という方針からも伺える、子どもに寄り添う指導が全国大会という結果に結びつきました。

25年+5年（清金クラブ）の監督業
「家の中で飛び回る子どもを外に連れ出してほしい」と近所の人に言われ、清金団地の子を集めて野球クラブを作ったのがきっかけです。当時所属していた社会人野球チームの監督が熱心に勧めてくれたこともあり、やってみることに。30年に渡る監督業は、家族の協力なしでは続けてこれませんでした。

「絆」を大切にしたチームづくり
学童野球は、飛びぬけた技量を持つ子を中心としたワンマンチームになりやすいのですが、そうはしたくないと思っています。みんなでプレーする「絆が強い野球」がうちの特徴です。だから、休憩中に一人でいることは許しません。日常の仲の良さが、プレー中にも現れてくるからです。全国大会という夢を叶えた今、次期監督の養成が課題です。

野々市検定（問題は16ページ）

【第1問】B. 害虫を駆除する 農薬のなかった時代に松明の火で稲の害虫を集めて駆除したのが始まり。野々市では江戸時代から行われている。

【第2問】A. 酒 喜多家は江戸時代前半に野々市に移住し灯油の製造販売をしていたが、幕末から酒屋を営んだ。干物店は、市立郷土資料館として公開されている魚住家。

【第3問】A. 28日 28日(土)は約18,000人、29日(日)は約14,000人。

編集後記

ヒートアイランド現象は、都市化が進む本市も無縁の話ではなさそうです。アスファルトやコンクリートの上は一段と暑くなります。そんな中でも水田の多い地域では、緑を渡ってくる風の涼しさを肌で感じました。グリーンカーテンで日差しを遮る家庭も増えてきました。自然の変化には、自然の植物を利用するという、こんな人間の知恵を試された今年の夏も終わります。

FM放送 76.3MHz
ホームタウン野々市
月～金/ 6:30～ 7:00
11:15～11:55
16:00～17:00
えふえむ・エヌ・ワン

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

VEGETABLE
OIL INK

Waterless
Printing, Naturally

コミュニティバス「のっティ」に乗って、ぶらり市内探訪。



ふれあい広場

富陽小学校グラウンドの横にあるふれあい広場は、中央に小川が流れ、屋根付きの休憩所もあり、残暑の中の散歩にはちょうどよい場所です。トンボもたくさん飛んでいました。(バス停「スポーツランド」から徒歩3分)

のっティで巡る
ののいち探訪③



バス停から富陽小が見えます



ミズアオイを植えていました

スポーツランド (南部ルート⑩)

「とにかく一回、見に来てよ」。野々市に昔から自生する在来植物や昆虫などの保全活動を行っているビオトープ運営連絡会「なぎの会」の中村会長から、電話が入りました。「ふれあい広場、すごくきれいになりましたよ」。

早速、のっティに乗って行ってみました。スポーツランドのバス停で降りて、富陽小学校の方向に向かいます。グラウンドを過ぎて角を曲がると、箱庭のようなかわいらしい公園が。「なぎの会」の

皆さんに案内していただきました。

「昨年11月に市と*アダプトプログラムを結び、地道な清掃作業を続けてきました。川べりの岩も見えないくらい雑草だらけだった公園も、ご覧の通りです。市内では田園が減ってきましたが、植物や昆虫は人間が生きるために必要なもの。命の大切さを感じられる場として整備を続けます。目標は、ホテルが住む公園にすること。来年、幼虫を放す予定なので、早ければ2年後に見られますよ」

*企業や団体が公の場所の里親となり、定期的に美化活動や除雪活動を行う事業

案内人

(左から) 中村 脩二さん、柳瀬 千恵子さん、林 正一さん



毎週水曜の午前9時から11時半ごろまで、会員が集まって広場の観察会をしています。自然に親しみたい人など、どなたでも参加できますので、気軽に来てみてください。楽しい発見がたくさんありますよ。